

## 都市型農園の意義と運営方法の検討

緑環境景観マネジメント研究科 新保 奈穂美

**キーワード** まちづくり、社会共生、資源循環、貸農園、コミュニティガーデン、ライフスタイル、緑地計画**研究概要**

クラインガルデン、アロットメントガーデン、市民農園、体験農園、コミュニティガーデン…様々な名や形態で存在する都市型農園がどのような意義を持ち、またいかに運営されているのかを国内外で研究しています。

特に意義としては、社会共生や資源循環の観点から研究しています。移民や難民、高齢者や子ども、女性、失業者、更生保護対象者など、社会的弱者になりやすい人々が社会参画のきっかけとする場として使われたり、また地域の植物残渣や生ごみを使って農作物を育て収穫物を地域に還元したりなど、そうした試みを取り入れた都市型農園を対象にしています。

都市型農園がどのような土地を用いて作られているのか(空き地、農地、屋上…)、どのような人々・主体によりいかに運営されているのかも調べ、理論化するとともに、実務・活動に携わる人々に知識を提供します。



スイスの伝統的な都市型農園

**アピールポイント**

主な対象地は日本、ドイツ、オーストリア、ニュージーランドですが、その他の国も幅広くカバーしようとしています。そのため、国際的なトレンドに乗った分析・提案が可能です。

**応用分野**

都市開発のほか教育や福祉分野とも親和性が高い研究です。よりよいまちづくりの要素として「農」を活かす方法を考えてまいります。